

JFEコラムBCR・JBCRの耐火被覆低減工法

建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラムBCR・JBCR」に対する けい酸カルシウム板耐火被覆厚の低減

使用材料の熱特性を詳細に検討することにより「JFEコラムBCR・JBCR」を使用した場合耐火被覆を低減することができるようになりました。

- ◆けい酸カルシウム板の耐火被覆厚さを40%以上薄くできます！
2時間耐火で被覆厚さ20mm(従来の1時間耐火と同じ被覆厚さ)
- ◆従来の2時間耐火の場合に比べて、仕上げを含めた柱断面積を5~10%程度低減可能です！
- ◆耐火被覆材と仕上げボードを兼用できるので、現場省力化に繋がります。
- ◆ロール成形角形鋼管は通常と同じ材料が使用できます。
けい酸カルシウム板は日本インシュレーション(株)製「Jタイカ」を使用します。



<耐火認定番号>
 繊維混入けい酸カルシウム板張/鋼管柱
 ・FP120CN-0668-1(2時間耐火)
 合成耐火:ALC横張
 ・FP120CN-0673-1(2時間耐火)
 合成耐火:ALC縦張
 ・FP120CN-0688-1(2時間耐火)

耐火被覆厚



「JFEコラムBCR・JBCR」適用サイズ

耐火種別	外径	板厚												
		6	8	9	12	14	16	19	22	25	28			
2時間耐火	□200													
	□250													
	□300													
	□350													
	□400													
	□450													
	□500													
	□550													

耐火被覆厚さ20mm

□ : JFEコラムBCR・JBCR製造範囲
 ■ : 被覆厚低減可能なJFEコラムBCR・JBCRサイズ

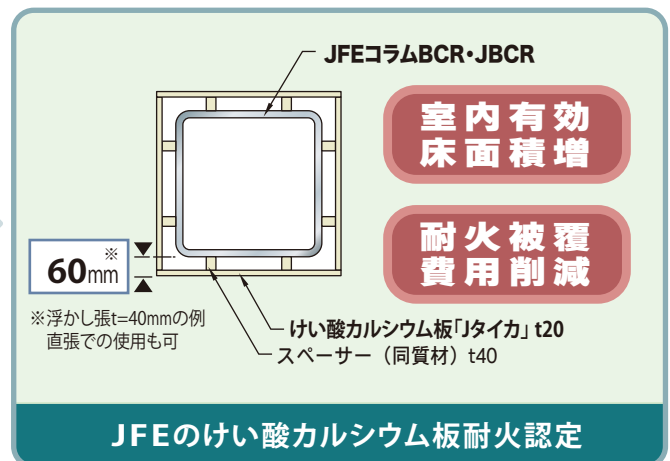
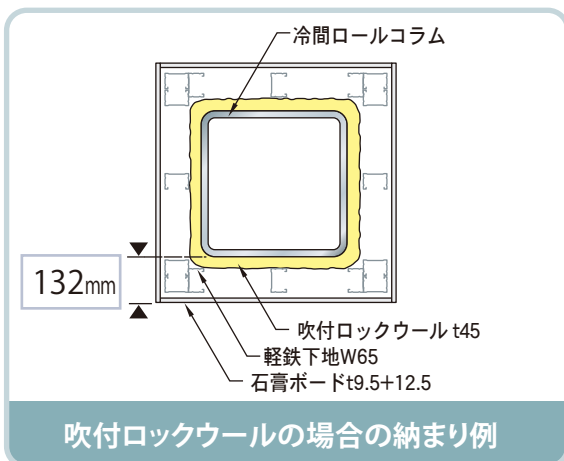
<適用可能なロールコラムの認定番号>

- ・MSTL-0142:BCR295(東日本製鉄所・京浜地区)
- ・MSTL-0495:BCR295,JBCR295(知多製造所)

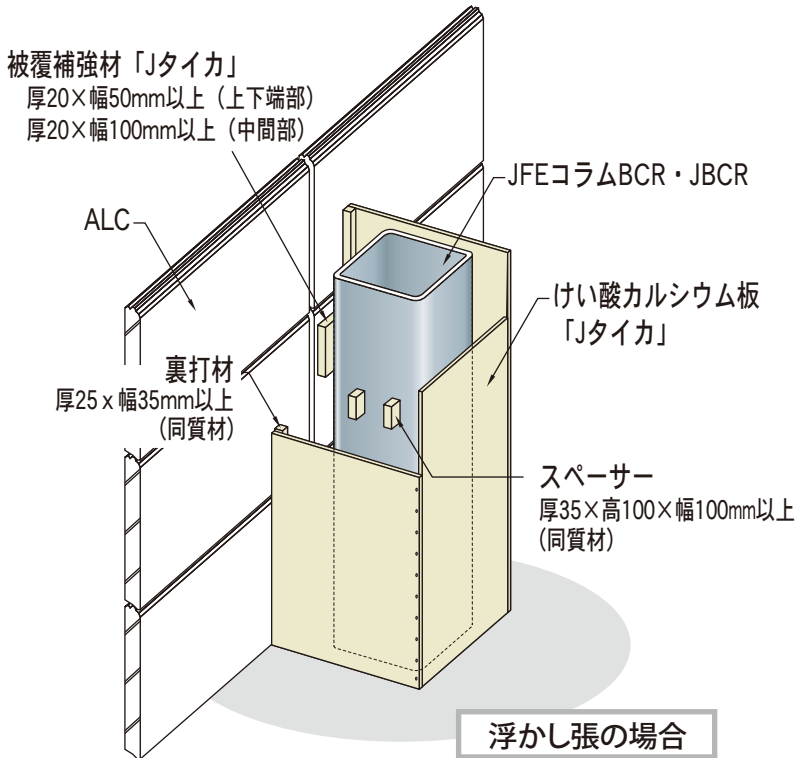
注1) 旧認定番号MSTL-0141,MSTL-0401も本工法を適用可能です

注2) 「BCR」は日本鉄鋼連盟の登録商標です

吹付ロックウールとけい酸カルシウム板との比較

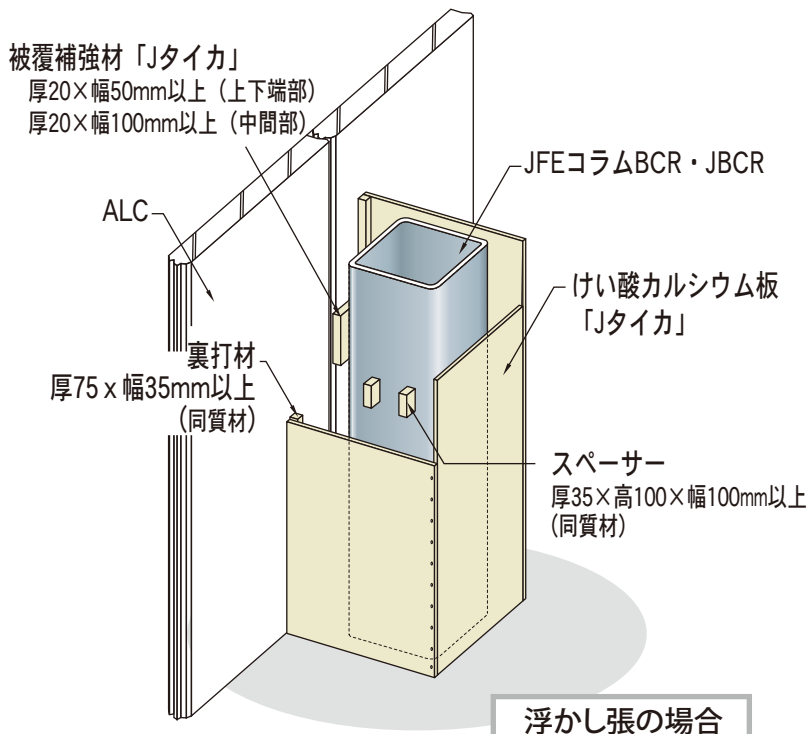


横張ALC外壁との合成耐火の例



- 外壁の種類
ALCまたはプレキャストコンクリートパネル
厚75mm以上
- 外壁と鋼管柱との距離
150mm以下
- けい酸カルシウム板「Jタイカ※」
2時間耐火：被覆厚 20mm
取付仕様：直張または浮かし張
(柱との間隔100mm以下)
- 適用ロールコラムサイズ
2時間耐火：□-250x16～□-550x28

縦張ALC外壁との合成耐火の例



- 外壁の種類
ALCまたはプレキャストコンクリートパネル
厚100mm以上
- 外壁と鋼管柱との距離
150mm以下
- けい酸カルシウム「Jタイカ※」
2時間耐火：被覆厚 20mm
取付仕様：直張または浮かし張
(柱との間隔100mm以下)
- 適用ロールコラムサイズ
2時間耐火：□-250x16～□-550x28

※日本インシュレーション製

ご注文・お問い合わせは、下記JFEスチール株式会社までお寄せください。



〒100-0011

東京都千代田区内幸町2丁目2番3号(日比谷国際ビル) TEL 03-3597-3587 FAX 03-3597-3825

JFEスチール株式会社 建材センター 建材開発部

<http://www.jfe-steel.co.jp>

JFE スチール 株式会社